

令和6年度 帯小ICT活用実践例



実施学年 2年生
実施教科 道徳

中心発問の後で「帯小のいいところ」を共有ノートで交流させてみました。共有ノートを使用する前にルールを確認することで大きな混乱もなく作業することができました。



実施学年 2年生
実施教科 算数

dLをゆっくり、丁寧に書こうとする児童が多く見られました。また、提出箱の友達の字を見て良さを認め合ったり、刺激を受けて、もう1度書き直そうとする姿が見られました。



実施学年 3年生
実施教科 理科

「生き物をさがそう」、「花のかんさつ」で見つけた春を写真に撮って交流したり、ホウセンカの成長の様子を記録したりしました。生き物探しでは、写真の枚数を気にすることなく、意欲的に活動できました。



実施学年 2年生
実施教科 算数

宿題で、家にある物を撮り、ロイロで提出してもらいました。身近にかさを表す単位が予想以上に多くあることに気付くことができ、保護者の方も一緒に取り組んでくれました。

ゆずの道 かんしょうカード

難しい、道をくると曲げるところも上手にできていて、スゴイと思います。 彩愛

とてもいい色と可愛い動物がいて可愛いとおもいました。 みなみ

とても犬が可愛らしく、キャバリアがボール遊びをしているのがとても可愛いと思いました。 ひな

すい色と濃いどっちもあって、綺麗です。 和葉

ゆるゆるとした文字もきれいで色がすくはっきりしていたのでいいと思います。 かのんより

しょうポイントの多い方
自分の道的设计について
子どもが書く大人と
大人が書く子どもと
何が違うのか、どう違うのか
聞いてみる。 彩愛

→
親
あがやが明るい色で描いたところが
たがまっています。こいもきれいなところ
の絵がかわいい。デザインが良
しくて、まねしたいと思いました。

OC249

自分の考えを詳しく書いてすごかったです。 可児

ゆみ子が立派に育ったということをかいていいなと思いました。 さえより

タブレットの方が、やりやすいのが、一緒に。 柚

十年後のゆみ子はお父さんが想ってたゆみ子と結構違ったね！ 未織

- 条件
- 一、場面と場面を比べて、どの人物の行動が心に残ったかを書く。
 - 二、「一つの花」を学習した感想を書く。
 - 三、タブレット使った学習について感想を書く。
(フートのほうがよかった。タブレットの方がやりやすいなど。)
- 「一つの花」まとめ 安井想華
- ①戦争のはげしかったときのゆみ子は、お腹をずっとすかせていて「一つだけちょうだい。」
「と言ってもらっていただけ十年後はゆみ子がお昼を作っていて何年かの間だけで、すごく変わってすこいと思いました。」
- ②戦争の話でもあるし未来のこの話もあるから一つの話に、二つの世界があるからいいと思ったし、題名の一つの花は、最初なんでそんな題名なのかなと思っただけと読んだ見たらお父さんからもらった最後のお花なんだと思っとてもいいと思いました。
- ③タブレットを使ってやると文字や文章、自分の考えなどをスラスラ打ってタブレットでやったら、とてもやりやすかったです。

実施学年 4年生
実施教科 図工

鑑賞の場面で使いました。タブレットで写真を撮り、子どもたちは移動して、友達のタブレットに作品の素敵なところを打ち込みました。

実施学年 4年生
実施教科 国語

単元のまとめでロイロノートに感想文を書き、相手の感想文にコメントを書いて交流しました。友達の書いたものを見て、修正する姿も見られました。

ボランティアさんにインタビュー！

(きれいに咲いて) 花を育てる時の思い

今年も花壇の花が元気よく咲いていて、私は、毎年花壇の花の生長を見てくれているボランティアさんインタビューもしてきました。まず、花を育ててはみたことがなかったけれど、きょうかには、十三日曜日はまだ、一つしめ花壇がなく、早入れもされていなかったそうです。なので、当時の教頭先生は、今のボランティアさんになんとかきれいにしたいとお願いをしたそうです。

次に花を育てていて、嬉しかったことを聞くと、花水や、お客さんなどに「きれいだね」と喜んでもらえることと答えてくれました。最後に花を育てている時の気持ちを聞くと、きれいに使いたいと思う、一生懸命育てているそうです。このようにボランティアさんがたくさんいるのを一生懸命育ててくれているおかげで花壇は、毎年きれいな花を育てることができると、皆さんもボランティアさんにお礼を言えようと思っています。

にじいろ新聞

4年1組 4期
・小島 彩愛
・石原 友樹
・藤原 純

先生はなんの仕事しているか

「前職がタレントの仕事をしていたので、今は先生に、初の仕事をしていました。インタビューをしてみました。」

①頃、みどりファインを始めて、メールを付けて、「新しいインタビューをいっしょに勉強して、どうやって、先生の仕事をする。」

②空いている時間、どうやって、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

③先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

④先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑤先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑥先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑦先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑧先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑨先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑩先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑪先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑫先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑬先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑭先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑮先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑯先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑰先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑱先生が何を仕事として、先生の仕事に勉強して、先生の仕事をする。

⑲ 先生の先生に去年の六月に一番多かった怪我の種類を、聞いてみました。

その結果は「だばくへぶつけた、はざんだ」が一番多かったそうです。みなさんも、怪我や故障不良には、気をつけてください。「一抽」

怪我は？

去年の六月に一番多い怪我は？

ふざかわ先生

おすすめの本紹介 「なないろのプレゼント」

なないろちゃん、宝物のじいろのマフラーをおぼあちゃんに見せようとおぼあちゃんの家へ急ぎます。でも、あまりに急ぎ過ぎたのか、マフラーは、どこかへいつてしまいました。不思議なマフラーは、寝がっている人のところに飛んで来て、

心温まる優しい物語。(彩愛)

実施学年 4年生
実施教科 国語

キャンパで新聞を作りました。共同編集でそれぞれ記事を書き、互いに見合って加除修正を行いました。互いに新聞を見て、他の班の良いところを真似する姿が見られました。

夏の花火大会で輝きながら舞い散る姿(花火)を見とれて夢中になっている自分を想像して詠みました。

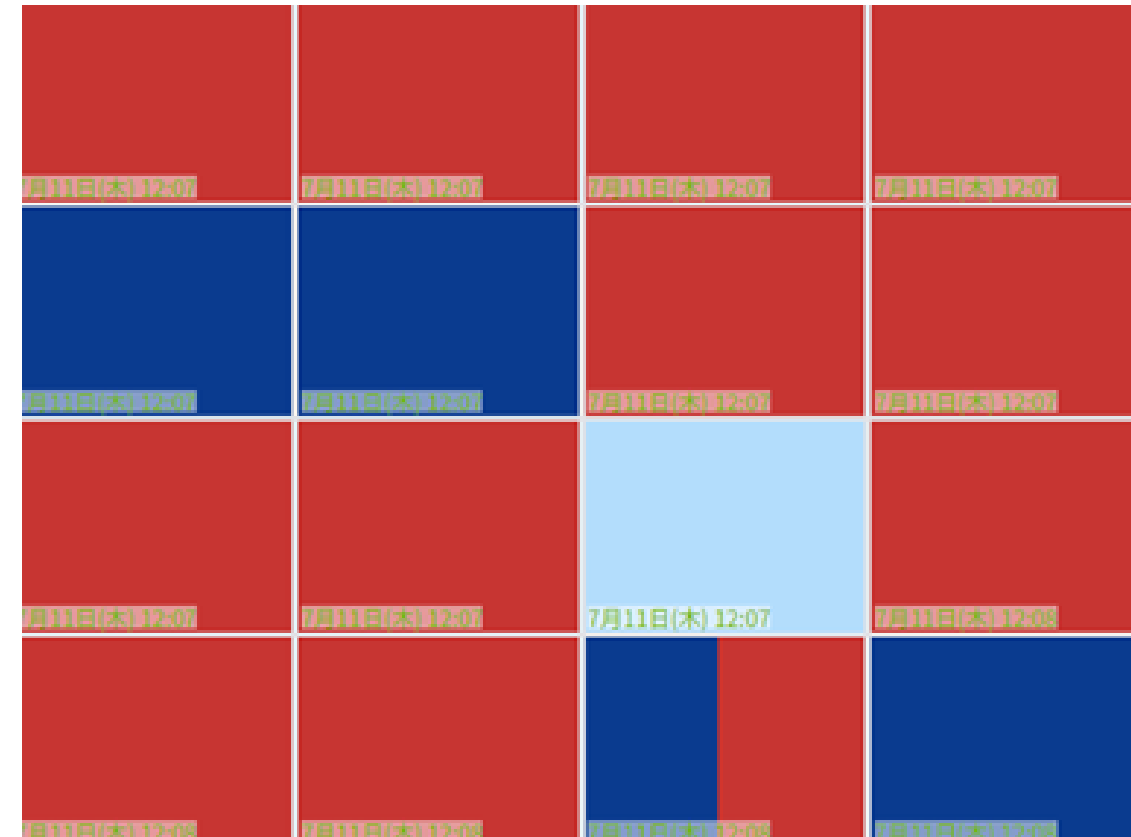
擬音語や体言止め、切れ字などをうまく使ってリズム感よく、自分の気持ちが伝わる俳句にしました。



氏名

実施学年 5年生
実施教科 国語

夏の俳句をつくる場面で、ロイロノートやCanvaを活用しました。夏の好きな情景や思い出など、自分のイメージ通りに表現することができました。



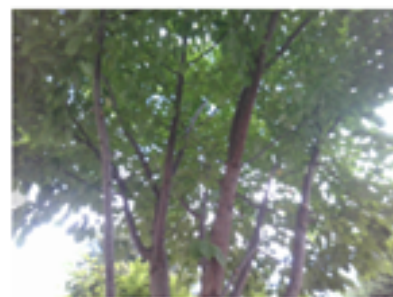
実施学年 5年生
実施教科 道徳

導入でロイロノートを活用し、発問に対する考えを赤青カードで提出しました。全員に色で意思表示をさせることで、導入から議論が行われ、本時の学習の意欲の高まりにつながっていました。

春のサクラ



夏のサクラ



気がついたこと
春のさくらはピンクくて夏になると緑の葉っぱが出てきている

実施学年 4年生
実施教科 理科

春と夏のサクラの違いについて、写真を撮ってロイロノートでまとめました。イラストよりも分かりやすく、絵を描くことが苦手な児童でも取り組むことができました。

同じ場所から、雲の様子を2回撮ります。

4/15 (月)
天気～晴れ☀



4/17 (水)
天気～曇り☁



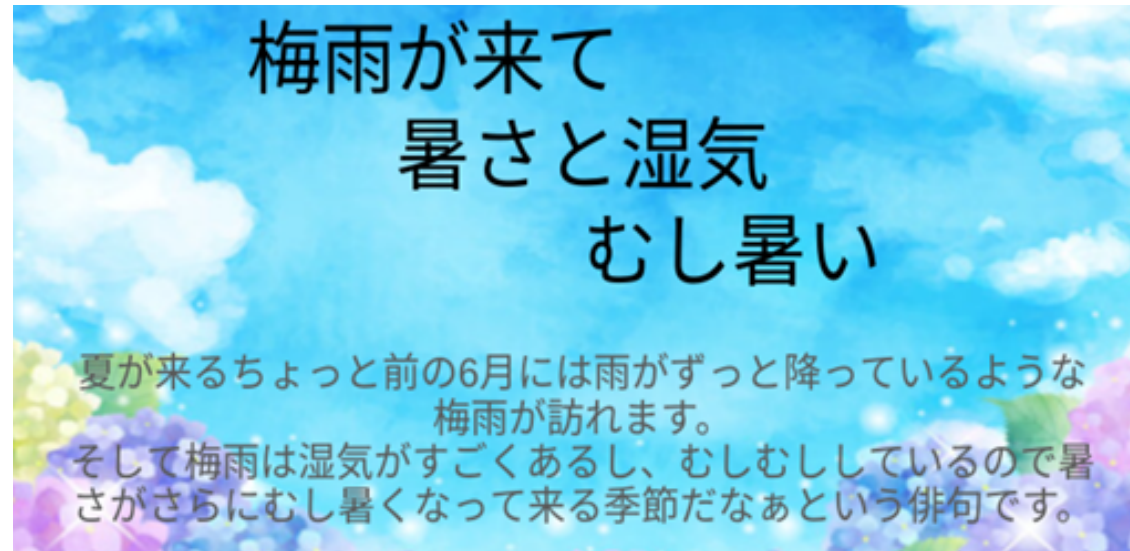
実施学年 5年生
実施教科 理科

曇りと晴れの日の雲の様子の違いを写真に撮って、ロイロノートでまとめました。動くものをスケッチするのは難しいため、写真は有効でした。また、撮る方位を定めるのも目印を決めると、容易にできました。



実施学年 5年生
実施教科 国語

作家を1人決めて本を読み
広げ、学習のまとめでは、
そのよさやおもしろさにつ
いてCanvaを使ってまとめ
ました。思考の場面ではシ
ンキングツールを活用する
ことで、作家のキャッチコ
ピーを考えることができました。



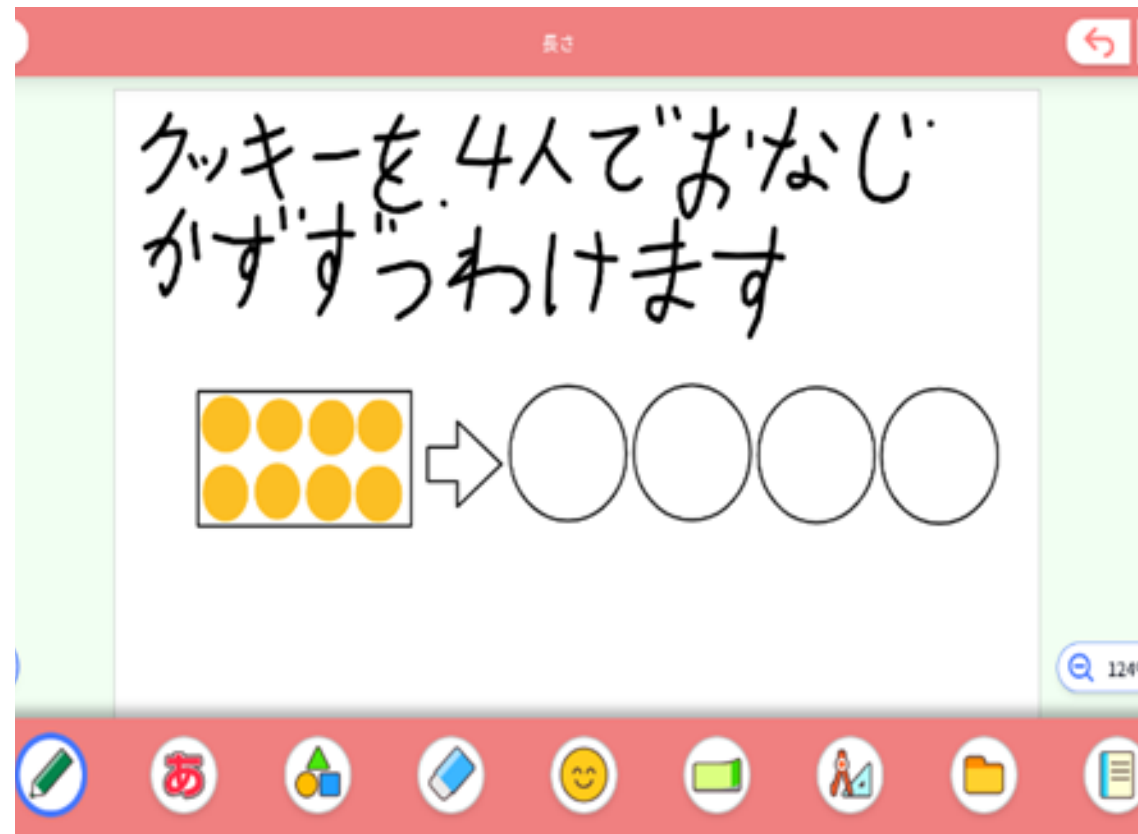
実施学年 6年生
実施教科 国語

夏の俳句をGoogleスライド
を使って表現しました。自
分が表したい情景を簡単に
作ることができ、ロイロノ
ートに提出させることで、
一気に印刷できる点も良か
ったです。



実施学年 6年生
実施教科 社会

本時の導入で児童に写真や
資料、webカードを送りま
した。各自で拡大しながら
しりょうを読み取ることが
できるため、便利で分かり
やすかったです。



実施学年 3年生知的学級
実施教科 算数

「おたすけっち」というア
プリを使いました。操作が
比較的簡単で、図形などが
使いやすいと感じました。



実施学年 5年生情緒学級
実施教科 自立活動

自分のことをよく知ろうという場面で、ロイロノートのシンキングツール活用しました。教師側でカードは用意しておき、できていることとそうでないものに分ける操作を行いました。